

50周年記念講演

関節リウマチの最新治療とつきあい方

三重大学医学部附属病院
リウマチ・膠原病センター
中島 亜矢子

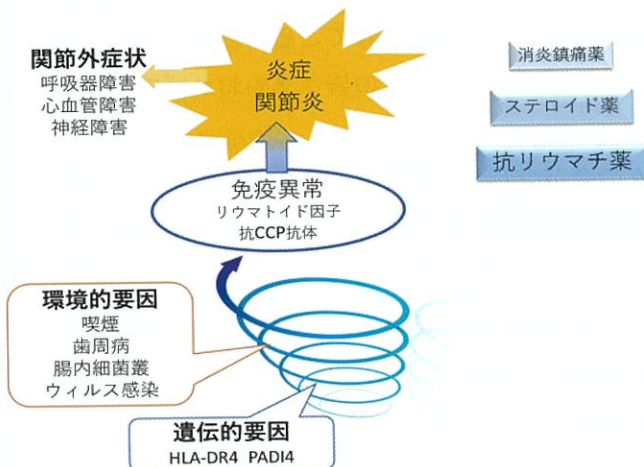


皆様、こんにちは。

本日は、日本リウマチ友の会三重支部の50周年大会で、
このように話をさせていただく機会をいただき、ありがとうございます。

本日は、関節リウマチとはどのような病気か、昨今の新しいリウマチ治療薬にはどんなものがあるのか、治療方針はどのようなものか、リウマチ治療をしながらの妊娠出産・授乳に対する考え、最後にリウマチとのつきあい方について説明しながら、関節リウマチ治療改善していることをお伝えしたいと思います。

1. 関節リウマチとはどんな病気？



リウマチとは、筋肉や関節に痛みやこわばりをきたす状態を意味する用語です。関節リウマチは、リウマチ性疾患の1つであり、膠原病の1つでもあります。原因はわかっていませんが、遺伝的な要因に、環境要因が伴って発症すると言われます。その本体は、慢性の滑膜炎で、軟骨や骨を破壊するほか、炎症が続くと関節外にも症状が出てきます。